

9月1日は「防災の日」。

1923年の関東大震災の教訓を糧にすべく、

1960年に制定された記念日です。

1995年に阪神・淡路地方で。

2004年に新潟県中越地方で。

そして2011年3月11日に、

東日本全域を大震災に伴う種々の

災害が襲いました。

人間が自然災害を避けることはできませんが、

専門家による事前の備えがいかに大切か、

さらにアフターケアがどれだけ大きな価値をもつか、

改めて大きな教訓が世に示されています。



特集

災害と 地域ケア

地域ケアに携わる

プロフェッショナルたちは

医療や福祉の力を

被災地や避難所に

“届け” “つなぐ” 力を

つちかてきました。

今何ができているのか、

これから継続して

何ができるのか。

次代に届ける特集号です。